



51 フロアーカーリング

青森県立種差少年自然の家

○活動の概要○

目標のターゲットに対して、いかに多く自チームのストーン（フロッカー）を近づけられるかを競うゲームです。

1 ねらい

グループ内でのコミュニケーションを促進し、親睦を深めさせます。
(小学校 体育科)

2 場所・人数・期間・時間

- ① 場所・人数 プレーホール 20名程度（待ち時間なしで運営できます）
- ② 期間 通年
- ③ 時間 1時間（人数により変わります）

3 職員の支援について

・物品貸し出し時にルールや安全についての説明を行うことができます。依頼があれば活動支援に入ることができます。

4 準備物

| 区分 | 準備物 | 備考 |
|------|---|------|
| 団体 | 特になし | |
| 個人 | ・運動ができる服装・内ズック | |
| 自然の家 | ・フロアーカーリング用具一式 (フロッカー：レッド4、イエロー4、 ターゲット：1) ・メジャー | 1セット |

5 引率者の役割分担

| 係名 | 役割 |
|-------|-------------------|
| 代表責任者 | ・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。 |
| 救護係 | ・緊急時の救護にあたる。 |

6 活動の流れ

- ① 用具の準備
- ② ルールの説明と諸注意
- ③ 活動
- ④ まとめ・片づけ

7 その他

- ・ペタンクやディスコンに似たルールで、初めてプレーする人でも充分楽しむことができます。
- ・1度にプレーできるのは、「4人組×2グループ×1セット」の8名になりますが、それ以上の人数では交代で行います。

競技方法とルール

〔実施人数について〕

通常、下記のような人数で実施します。

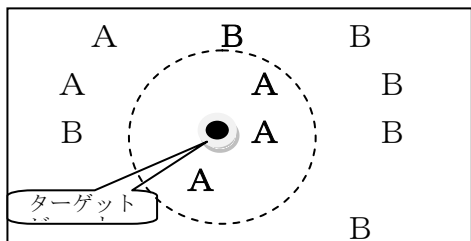
- 4人対4人・・・1人1個ずつフロッカーを投げる
 - 2人対2人・・・1人2個ずつフロッカーを投げる
 - 1人対1人・・・1人4個ずつフロッカーを投げる
- 何セット行うかによって、実施人数を調整できる。

☆競技の進め方☆

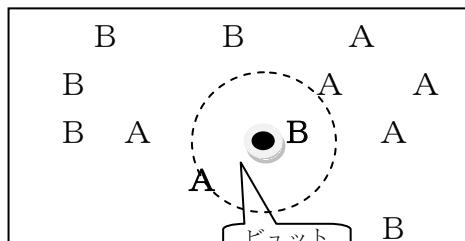
- 1 両チームのキャプテンは、ジャンケンで先攻を決め、先攻チームの1人がグリーンゾーンにターゲットを送球する。
- 2 グリーンゾーンにターゲットが停止しない場合は、もう一度やり直す。2回とも停止しなかった場合は、後攻チームに権利が移るが、フロッカーの送球は最初に先攻権のあるチームから行う。
後攻チームも2回とも失敗したら先攻チームがまたターゲットを送球する。
- 3 先攻チームは赤のフロッカーを、後攻チームは黄色のフロッカーを使用する。（セット毎にフロッカーは交換する）
- 4 ターゲットがグリーンゾーン内に停止した後に、先攻チームの1人がターゲットに向けフロッカーの送球を始める。
- 5 続いて後攻チームの1人が送球を行う。（先攻のフロッカーが停止しないうちに送球してはいけない）
- 6 その結果、送球したフロッカーがターゲットから遠いチームが次の送球を行う。
（その後は一方のチームの送球したフロッカーが相手チームのフロッカーよりターゲットに近くなれば相手チームと送球交代。双方のフロッカーがターゲットに対して同距離の場合は、後に近づけたチームが次に送球する。近くならなければ自チームのフロッカーが無くなるまで送球を続ける）
- 7 ライン上での停止は全て有効。また、送球中一度コート外に出たフロッカーが、再びコート内に戻って停止した場合も有効。ライン外で停止したフロッカーは無効。
無効となったフロッカーは新たに送球されるフロッカーの邪魔とならないようすぐ除ける。
- 8 両チームともすべてのフロッカーを送球して、セットやゲームは終了

☆得点☆

- 1 得点はターゲットを中心に、最も近いフロッカーのチームに入る。
ターゲットに最も近い相手チームより内側にある自チーム全てのフロッカーの個数がそのまま得点となり、1個1点と計算。（図参考）



ターゲットに近いのはA。Bより内側にあるAが3個なのでAが3点。



ターゲットに近いのはB。Aより内側にあるBは1つなのでBが1点。

計測は、簡易メジャーロープの場合、ターゲットのセンター棒にリングをかけ、ロープの一方をもっとも近いフロッカーの任意の側面部に合わせ、他のフロッカーとの距離を測定する

2 両チームのフロッカーがターゲットから同距離の場合のみ、両者に得点1が入る。

☆勝敗☆

9点先取したチームが勝ちとなり、ゲームは終了する。その他規定セット内での得点により勝敗を決定する方法もある。

☆その他のルール☆

1 レッドゾーン内にあるフロッカーも有効

2 送球したフロッカーがターゲットをコート外弾き出した場合、そのセットは終了とする。

ターゲットを弾き出したチームは、相手チームに2点または（相手チームの）未送球のフロッカー数のいずれが多い方を得点として与える。

3 送球したフロッカーが別のフロッカーを弾き、そのフロッカーによってさらにターゲットがコート外に弾き出された場合も上記と同様である。

4 送球したフロッカーによって他のフロッカー（自チーム、相手チームを問わず）がコート外に出された場合は、コート外に出されたフロッカーは無効となる。この場合も新たに送球されるフロッカーの邪魔とならないようすぐ除ける。

コートの大きさ

